

A0851



明治四十年
福岡縣統計書

第三編 (勸業)



A0851

福岡県立図書館



1206389938

四明
十年治

福
岡
縣
統
計
書

第三編
(勸業)

明治四十年 福岡縣統計書

凡例

一本書ハ明治四十年ノ事實ヲ掲載スルヲ以テ主トス而シテ事物ノ進退消長ノ如何ヲ知ルニ十ケ年乃至五ケ年ノ累年計數ヲ擧ケ或ハ一表トシ或ハ表末ニ列記シ以テ比較ニ便ニス而シテ其調査方法ノ變更等ニ依リ五ケ年ノ事實ヲ列記シ能ハサルモノハ二ケ年乃至四ケ年ニ止メタルアリ或ハ別ニ之ヲ表末ニ列記スルモノアリ
一本縣統計書ハ左ノ四編ニ分チ編纂スルコト、ナレリ即チ各編統計書中ノ部門ヲ頒ツコト左ノ如シ而シテ本編ハ其第三編トス

第一編 (行政ノ部)

土地、氣象、戸口、兵事、社寺、慈惠及救恤、土功、交通、監獄、議會、貯蓄、財政、官公吏及文書ノ十三部門トス

第二編 (學事ノ部)

學齡兒童、小學校、學校醫、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、幼稚園及圖書館、私立學校、新聞雜誌、雜事ノ十一部門トス

第三編 (勸業ノ部)

農業、林業、牧畜、水産、工業、鑛業、商業、金融、雜事ノ九部門トス

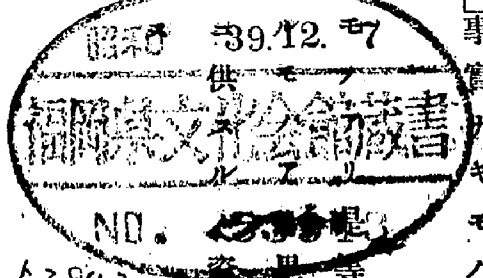
第四編 (警察ノ部)

分類 K35
地域番号 7

警察、衛生ノ二部門トス

一 統計ノ事實ナキ都市ハ表中ニ之ヲ省略ス
 一 統計期間ハ主ニ曆年ナルモ特ニ期限ノ定メアルモノハ其期間ニ依ル
 例之曆年ニ依ルモノ(明治四十年十二月三十一日)其他特ニ期間ノ定メアルモノ(明治四十年六月三十一日)ト記載シタルガ如シ

一 數位ハ概ネ石、圓、斤、貫、里、町、反、等ノ一位ニ止メ以下端數ハ四拾五入ノ法ヲ用ユ而シテ一位以下小數ヲ知ルノ必要アルモノハ一位ニ「・」ヲ付シ以下合、錢、厘、分、步、等ニ止ム其他千位、百萬位ニ「、」ヲ付シ數字上疑義アルモノハ「?」事實ナキモノハ「—」ヲ付シ又計數ノ一位ニ滿タサルモノヲ示スニ「〇」ヲ記載セリ
 一 表中往々懸隔ノ異數ヲ示シ不可信ノ現象ヲ呈スル正誤訂正スル所アリト雖モ未ダ内容ノ完全ナラナラザルモノアルニ因レリ本編ハ暫ク觀者ノ參考ヲ期シ併テ調査ノ正誤ヲ誤ルコトナキニ勉メント



明治四十年 福岡縣統計書

第三編

(勸業之部)

目次

● 農 業

第一	農業戶數	一頁	第二〇	特用農產物	四 (甘蔗、漆樹、植實)	二九
第二	農業人員	二	第二一	葉烟草		三一
第三	農事教育ヲ受ケン人員	三	第二二	果實一 (梅、桃、梨)		三一
第四	自作及小作地段別	四	第二三	果實二 (柿、苹果、欒)		三一
第五	米作付段別產額及價額 (累年比較)	五	第二四	果實三 (葡萄、枇杷、栗)		三四
第六	米作付段別產額及價額 (累年比較)	六	第二五	果實四 (紀州蜜柑、温州蜜柑、夏橙、蜜柑、其他)		三五
第七	麥作付反別產額及價額 (累年比較)	七	第二六	果實五 (洋橘、蜜柑、其他)		三七
第八	麥作付反別產額及價額 (累年比較)	八	第二七	桑園及養蠶家一 (累年比較)		三八
第九	一毛作二毛作以上作田段別	九	第二八	桑園及養蠶家二		三九
第一〇	食用農產物一 (大豆、小豆、豌豆、蠶豆)	一〇	第二九	桑園及養蠶家三		四〇
第一一	食用農產物二 (落花生、粟、稗、黍)	一一	第三〇	一化性検査		四〇
第一二	食用農產物三 (蕎麥、玉蜀黍、甘藷、馬鈴薯)	一二	第三一	二化性第一化不越年種検査		四一
第一三	食用農產物四 (生百合、乾百合、蘿蔔、胡蘿蔔)	一三	第三二	二化性第二検査		四二
第一四	食用農產物五 (午麥、芋、蒟蒻芋、蕪菜)	一四	第三三	二化性第一化越年種検査		四三
第一五	食用農產物六 (蔬菜、玉葱、葱、筍)	一五	第三四	二化性第一化越年種検査		四四
第一六	食用農產物七 (蓮根、薑、蕃椒)	一六	第三五	繭總產額一 (累年比較)		四五
第一七	特用農產物一 (除虫菊、薄荷、菜種)	一七	第三六	繭總產額二		四五
第一八	特用農產物二 (實綿、大麻、苧麻、葉藍)	一八	第三七	春蠶		四六
第一九	特用農產物三 (楮皮、三椏、蘭、山苧)	一九	第三八	秋蠶		四七
			第三九	茶畑及製茶產額		四八
			第四〇	製茶種類別數量價額		五〇
				人造肥料		五一

第四一 農業履人賃錢

林業

第四二	國有林野箇所面積	一 (使用別)	五三
第四三	國有林野箇所面積	二 (種類別)	五七
第四四	公有社寺有私有林箇所面積	一	五九
第四五	公有社寺有私有林箇所面積	二	六三
第四六	公有社寺有私有林箇所面積	一	六四
第四七	公有社寺有私有林箇所面積	二	六六
第四八	保安林箇所面積		六七
第四九	國有部分林箇所面積及分配實行		六八
第五〇	公有社寺有私有林開墾箇所面積		六九
第五一	公有社寺有私有林開墾箇所面積	一	七〇
第五二	公有社寺有私有林開墾箇所面積	二	七一
第五三	公有社寺有私有林開墾箇所面積	三	七二
第五四	森林伐採	一 (木材種類別)	七三
第五五	森林伐採	二 (竹材種類別)	七四
第五六	國有林伐採	一 (木材)	七四
第五七	國有林伐採	二 (薪炭材)	七五
第五八	國有林伐採	三 (竹材)	七五
第五九	公有社寺有私有林伐採	一 (用材)	七七
第六〇	公有社寺有私有林伐採	二 (薪炭材)	七九
第六一	公有社寺有私有林伐採	三 (竹材)	八一
第六二	國有林損害		八二
第六三	公有社寺有私有林損害		八四
第六四	公有社寺有私有林損害	二	八四

第八九 豚、山羊、羊、兔、斃死

漁業

第九〇	家禽	一 (鷄)	一六
第九一	家禽	二 (鴨)	一八
第九二	家禽	三 (鴨)	一九
第九三	家禽	四 (鴨)	二〇
第九四	屠畜	一 (累年比較)	二〇
第九五	屠畜	二	二一
第九六	屠畜	三	二二
第九七	牛乳		二二
第九八	獸醫蹄鐵工		二四
第九九	漁業戶數及人口		二五
第一〇〇	漁獲物價額	一 (累年比較)	三〇
第一〇一	漁獲物價額	二	三〇
第一〇二	漁獲物種類別	一 (鹹水產)	三二
第一〇三	漁獲物種類別	二 (鹹水產)	三二
第一〇四	漁獲物種類別	三 (鹹水產)	三五
第一〇五	漁獲物種類別	四 (鹹水產)	三八
第一〇六	漁獲物種類別	五 (鹹水產)	四一
第一〇七	漁獲物種類別	六 (鹹水產)	四三
第一〇八	漁獲物種類別	七 (鹹水產)	四六
第一〇九	漁獲物種類別	八 (淡水產)	四九
第一一〇	漁獲物種類別	九 (淡水產)	五五
第一一一	遠洋漁業		五八
第一一二	水產製造物價額 (累年比較)		六二

第六五	森林新植種類別		八五
第六六	國有林新植		八六
第六七	公有社寺有私有林新植	一	八七
第六八	公有社寺有私有林新植	二	八八
第六九	公有社寺有私有林新植	三	八九
第七〇	公有社寺有私有林新植	四	九〇
第七一	公有社寺有私有林新植	五 (補植)	九一
第七二	公有社寺有私有林新植	六 (天然下種)	九二
第七三	國有林副產物		九二
第七四	公有社寺有私有林野副產物	一	九三
第七五	公有社寺有私有林野副產物	二	九五
第七六	公有社寺有私有林產物種類	一	九六
第七七	公有社寺有私有林產物種類	二	九七

牧畜

第七八	牧場		九九
第七九	種牡牛馬		九九
第八〇	家畜市場		一〇一
第八一	牛	一 (累年比較)	一〇二
第八二	牛	二	一〇二
第八三	牛出產及斃死		一〇五
第八四	馬	一 (累年比較)	一〇七
第八五	馬	二	一〇七
第八六	馬出產及斃死		一一一
第八七	豚、山羊、羊、兔		一一二
第八八	豚、山羊、羊、兔、出產		一一三

工業

第一一三	水產製造物	一 (素乾)	一六五
第一一四	水產製造物	二 (煮乾)	一六六
第一一五	水產製造物	三 (鹽製)	一六七
第一一六	水產製造物	四 (燒製)	一六七
第一一七	水產製造物	五 (食用雜類)	一六八
第一一八	水產製造物	六 (肥料)	一六九
第一一九	鹽 (累年比較)		一七〇
第一二〇	鹽		一七一
第一二一	漁船	一	一七二
第一二二	漁船	二	一七三
第一二三	漁網		一七三
第一二四	新製漁網		一七四
第一二五	廢用漁網		一七六
第一二六	水產養殖	一	一七七
第一二七	水產養殖	二	一七八
第一二八	水產養殖	三	一七九
第一二九	難破漁船		一八〇
第一三〇	工業戶數及人口		一八二
第一三一	工場	一 (原動力別)	一八五
第一三二	工場	二 (業態別)	一八六
第一三三	工場	三 (業態別)	一八七
第一三四	工場	四 (職工別)	一八九
第一三五	工場	五 (工場別)	一九〇
第一三六	綿糸紡績	一	二〇六

第三七	綿糸紡績 二	二二七
第三八	機業戶數及機械職工	二二八
第三九	織物 一 (絹織物)	二二九
第四〇	織物 二 (絹織物)	二三一
第四一	織物 三 (絹織物)	二三二
第四二	織物 四 (絹織物)	二三三
第四三	織物 五 (絹織物)	二三四
第四四	織物 六 (絹織物)	二三五
第四五	織物 七 (絹織物)	二三六
第四六	砂糖	二三七
第四七	酒類	二三八
第四八	製蠟	二三九
第四九	油類及菜種油類	二四一
第五〇	紙類 一	二四二
第五一	紙類 二	二四四
第五二	醬油	二四五
第五三	墨表莫座及瓷莖 一	二四六
第五四	墨表莫座及瓷莖 二	二四七
第五五	煉瓦及瓦	二四八
第五六	鐵製品	二四九
第五七	菓子類	二五一
第五八	機械製麥粉	二五二
第五九	麥粉製品	二五三
第六〇	蠶糸製造戶數	二五四
第六一	蠶糸類及真綿 (累年比較)	二五六

第一八七	度量衡器 一	二八五
第一八八	度量衡器 二	二八八
第一八九	職工賃錢	二八八
● 鑛業		
第一九〇	鑛區及坪數	二九三
第一九一	特許鑛區及坪數 一	二九四
第一九二	特許鑛區及坪數 二	二九七
第一九三	特許鑛區及坪數 三	三〇〇
第一九四	試掘鑛區及坪數 一	三〇三
第一九五	試掘鑛區及坪數 二	三〇四
第一九六	鑛產物 一	三〇六
第一九七	鑛產物 二	三〇七
第一九八	著名ノ石炭坑(千万斤以上)	三〇九
第一九九	石炭消費高	三一二
● 商業		
第二〇〇	商業戶數及人口	三一五
第二〇一	商業會議所	三一六
第二〇二	博多米穀取引所	三一六
第二〇三	博多米穀取引所建米相場	三一七
第二〇四	會社 一 (資本金別)	三一八
第二〇五	會社 二 (種類別)	三一九
第二〇六	會社 三 (營業別)	三二一
第二〇七	農業會社	三二二
第二〇八	工業會社	三二三

第一六二	蠶糸類數量價額	二五六
第一六三	製糸 一 (器械)	二五七
第一六四	製糸 二 (座繰)	二五八
第一六五	製糸 三 (玉糸)	二五九
第一六六	真綿	二六一
第一六七	菓製品	二六一
第一六八	船舶	二六三
第一六九	陶磁器 一	二六四
第一七〇	陶磁器 二	二六五
第一七一	竹製品	二六六
第一七二	樟腦及樟腦油	二六七
第一七三	莫大小	二六八
第一七四	工產物雜類 一 (建具器具)	二六九
第一七五	工產物雜類 二 (機械類)	二七〇
第一七六	工產物雜類 三 (麻糸蠟燭提灯)	二七二
第一七七	工產物雜類 四 (薯粉、足袋、下駄類)	二七三
第一七八	工產物雜類 五 (和傘、簞笥、佛壇)	二七五
第一七九	工產物雜類 六 (元結、團扇及扇子、酢)	二七六
第一八〇	工產物雜類 七 (吹琴石灰線香)	二七七
第一八一	工產物雜類 八 (製革、實業、セメント)	二七九
第一八二	工產物雜類 九 (靴石鹼、蕎麥粉)	二八〇
第一八三	工產物雜類 一〇 (鐘錶、鼻緒、コークス)	二八一
第一八四	工產物雜類 一一 (製菓、玻璃製品、味噌)	二八二
第一八五	工產物雜類 一二 (寒晒其他)	二八三
第一八六	度量衡 (累年比較)	二八五

第二〇九	商業會社	三二五
第二一〇	水陸運輸會社	三三〇
第二一一	商業會社支店 (管外)	三三一
第二一二	工業會社支店 (管外)	三三一
第二一三	水陸運輸會社支店 (管外)	三三一
第二一四	物價 一 (累年比較)	三三二
第二一五	物價 二 (月別)	三三六
第二一六	管外輸出米 一 (月別)	三四七
第二一七	管外輸出米 二 (府縣別)	三五一
第二一八	内外國出入船舶	三五五
第二一九	内外國輸出入貨物	三五七
● 金融		
第二二〇	記名公債證書所有者及額面金額	三八七
第二二一	記名公債證書種類別金額	三八八
第二二二	記名公債證書買賣額面金額	三九〇
第二二三	銀行 (資本金別)	三九〇
第二二四	普通銀行	三九三
第二二五	普通貯蓄兼營業銀行	三九六
第二二六	貯蓄銀行	三九七
第二二七	銀行支店 (管外)	三九八
第二二八	銀行收入及支出	三九九
第二二九	銀行預金	四〇五
第三〇〇	銀行貸付金	四一〇
第三〇一	銀行諸手形	四一五
第三〇二	銀行金利及割引相場	四一九

第三三三	銀行貯金	四二六
第三三四	質屋貸出金	四二八
第三三五	質屋金利歩合	四二九
第三三六	郵便爲替	四三〇
第三三七	地所建物船舶賣買及抵當權質權設定	四四五
第三三八	重要物産同業組合	四四九

第三三九	産業組合	四五〇
第二四〇	水産組合	四五三
第二四一	漁業組合	四五三
第二四二	茶業組合	四五七
第二四三	酒造組合	四五七
第二四四	製糸組合	四五八
第二四五	勸業費豫算	四五八

農業

農業戸數

一六一、一〇五

内

自作

四一、四九八

小作

五六、〇九八

自作兼小作

六三、五〇九

耕作地段別

一五五、〇〇一町六

内

自作畑

四九、〇九三町九
二四、三六四町四

小作畑

六二、三三二町〇
一九、二二二町三

農家一戸ニ付耕作地

九六町

(明治四十年)

農産物總價額

五二、二六六、四四〇円

内

米

(二、三四五、一二四石)

三六、一二五、一九三円

麥

(七九二、三二〇石)

六、〇四五、七五八円

食用農産物

五、二六〇、七七五円

特用農産物

三、二二四、四一〇円

果實

五九七、六五二円

製茶

一一一、九一八円

繭

繭 六、六七五石
玉繭 七六〇石
出殻繭 一〇三石
屑繭 三六〇石

三八三、八五七円

一六、八三〇円

一、六六五円

四、七四七円

肥料

四八三、六三五円

農産物價額 (農家一戸當)

三二四円